

# 研 究 室 紀 要

第 39 号

東京大学大学院教育学研究科 基礎教育学研究室

2013年9月



# 目 次

## 《研究論文Ⅰ》

共鳴共振する存在

——ハイデガー／ティリッヒのカイロス—— ……………田中 智志 ( 1 )

学校での市民性教育への反対論の検討

——左派の立場への偏向・論争的な問題・『不都合な真実』—— ……………片山 勝茂 (11)

明治初年の家族、子ども、教育論 ……………土方 苑子 (23)

## 《研究論文Ⅱ》

夜と音楽

——J=L・ゴダール『ノートル・ミュージック』をめぐって—— ……………今村 純子 (35)

最近接発達領域は「可能性の領域」か

——発達の力動の観点からの考察—— ……………堀村志をり (43)

学校教育カリキュラムにおけるケアの実践知の観点

——看護における〈技術<sup>テクネー</sup>〉と〈思慮<sup>フロネーシス</sup>〉の関係を手がかりに—— ……………佐藤 静 (53)

ピーターズら多元主義的立場からの進歩主義教育批判の論理 ……………吉田 直哉 (63)

子ども救済事業から子ども保護事業への展開

——石井十次の家族と学校に関する思想と実践を通じて—— ……………稲井 智義 (73)

日本における教育の能率化と教育工学の萌芽

——矢口新におけるプログラム学習論の成立を手がかりとして—— ……………邊見 信 (85)

綴り方教授における「自己」への道

——樋口勘次郎の「自発活動」から芦田恵之助の「発動的態度」へ—— ……………松橋 俊輔 (97)

前期ドゥルーズの学習論 ……………稲田 祐貴 (109)

小林宗作のリズム教育論

——始まりとしての「自然」と媒介としての「芸術」—— ……………江川愛都紗 (117)

1920年代における赤井米吉の教育思想

——宗教的・神秘的、かつ社会改的思想を中心に—— ……………李 舜志 (127)

## 《研究動向》

教育史におけるオーラル・ヒストリー研究の動向と可能性 ……………江口 怜 (137)

手塚岸衛における「自由」

——自学と自治の実践をてがかりに—— ……………田中智代子 (145)

## 《講演会記録》

千葉雅也氏講演会「部分的な無関心について」の報告 ……………小玉 重夫 (153)

《書評》

- 山本一生『青島の近代学校——教員ネットワークの連続と断絶——』  
.....堤ひろゆき (157)
- 松永幸子『近世イギリスの自殺論争  
——自己・生命・モラルをめぐるディスコースと人道協会——』…志田絵里子 (163)
- 北野秋男・吉良直・大桃敏行編  
『アメリカ教育改革の最前線——頂点への競争——』  
.....安部高太郎・鈴木 康弘 (169)
- 金森修『動物に魂はあるのか』 .....稲田 祐貴 (175)
- 小松美彦『生権力の歴史  
——脳死・尊厳死・人間の尊厳をめぐる——』 .....江川愛都紗 (181)
- 小玉重夫・森川輝紀編『教育史入門』 .....高田 正哉 (185)
- 小林正泰『関東大震災と「復興小学校」——学校建築にみる新教育思想——』  
.....畑中 祐樹・古仲 素子 (191)
- 田中智志『教育臨床学——〈生きる〉を学ぶ——』 .....李 舜志 (197)

《ゼミ動向》 ..... (203)

- [大学院] 総合演習／今井ゼミ／金森ゼミ／川本ゼミ／小玉ゼミ／  
田中ゼミ／小国ゼミ／片山ゼミ／西村ゼミ
- [学部] 基礎教育学方法論演習Ⅰ・Ⅱ／教育臨床学演習／教育人間学演習／  
価値と教育

《研究会動向》

- 子どもと教育の図像・表象研究会 ..... (231)

《2012年度修士論文一覧》 ..... (233)

《2012年度卒業論文一覧》 ..... (235)

\* 研究論文Ⅱおよび研究動向は査読付き。